

# 令和7年第1回議会 説明資料（その2）

## 【議案第2号】

令和7年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計  
予算案

# 令和7年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計予算案

- 1 予算の総括
- 2 事業の概要
- 3 令和7年度予算(案)の概要
- 4 債務負担行為
- 5 財政状況
- 6 令和7年度機構整備及び職員配置計画

# 1 予算の総括

## (1) 収益的収支 (事業運営に関する収益と費用)

(単位：百万円)

区 分	R 7 予算 ①	R 6 予算 ②	増減(△) ①-②
収 益 (A)	13,059	12,735	324
費 用 (B)	12,583	12,058	525
収支差(A-B)	476	677	△ 201

- ・ 給水収益の増
- ・ 営業費用の増

## (2) 資本的収支 (施設整備等に関する収入と支出)

(単位：百万円)

区 分	R 7 予算 ①	R 6 予算 ②	増減(△) ①-②
収 入 (C)	5,211	4,391	820
支 出 (D)	10,503	9,464	1,039
収支差(C-D)	△ 5,292	△ 5,073	△ 219

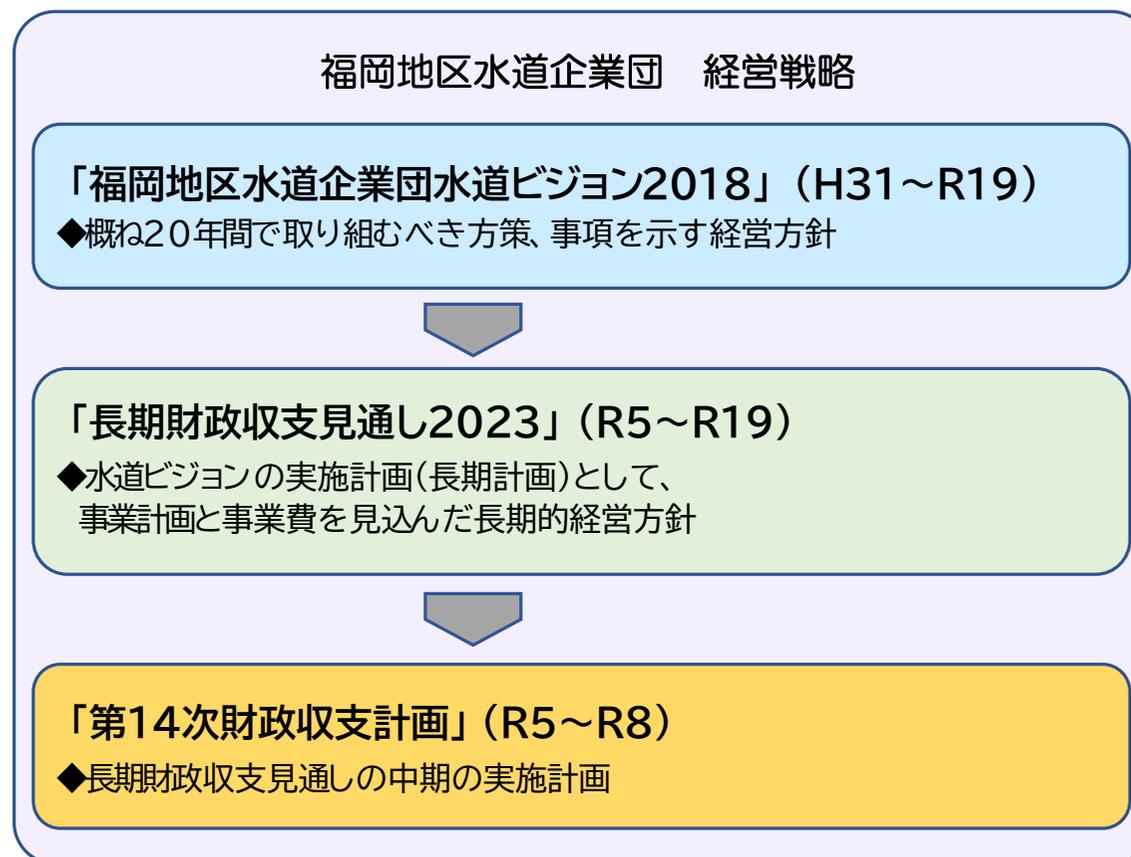
- ・ 主要事業の計画的な推進のため  
事業費を増額
- ・ 企業債の借入により、  
資金を確保

## 2 事業の概要

## 2 事業の概要 (1) 福岡地区水道企業団の基本方針

### (1) 福岡地区水道企業団の基本方針

将来にわたって安全で良質な水道用水を安定的に供給するとともに、それらを支える安定経営を持続していく。



## (2) 用水供給事業

- 年間総供給水量

9,157 万 $m^3$ /年

(令和6年度予算に同じ)

- 一日平均供給水量

25 万 $m^3$ /日

(令和6年度予算に同じ)

例年通り

水道用水を安定供給



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### (3) 主要事業

#### ① 海水淡水化施設の設備更新

供用開始後20年経過、更新時期を迎えた機器の更新

【令和7年度の取組】

(新規)

高圧ROポンプ設備外更新工事 (R7~R12)

監視制御設備更新工事 (R7~R9) 等

(継続)

高圧RO膜設備更新工事 (R5~R8)

(単位：百万円)

令和7年度	令和6年度	増減
1,212	552	660



高圧ROポンプ設備



監視制御設備

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ② 牛頸浄水場の改良・更新

牛頸浄水場、ポンプ場施設の機械・電気設備

【令和7年度の取組】

(継続)

牛頸浄水場ろ過池防水工事(4池/24池) (R5~R10)

粕屋南ポンプ場電気設備更新工事 (R6~R7)

等

(単位：百万円)

令和7年度	令和6年度	増減
827	329	498



牛頸浄水場 ろ過池



粕屋南ポンプ場

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ③ 水質管理機能の強化

残塩低下事象の再発防止や、業務の効率化を図るために実施

【令和7年度の取組】

(継続)

大隈ポンプ場外水質計器設置工事(R6~R7)

水質計器設置等に伴う遠方監視改修工事(R6~R7)

等

(単位：百万円)

令和7年度	令和6年度	増減
487	845	△ 358



大隈ポンプ場



水質計器

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ④ 管路の耐震化

「管路整備計画」に基づき、耐震化、バックアップ機能を強化

【令和7年度の取組】

(継続)

管路整備 I 期事業

総延長 32.2km のうち

整備率：20.7km R6年度末時点 64.3%

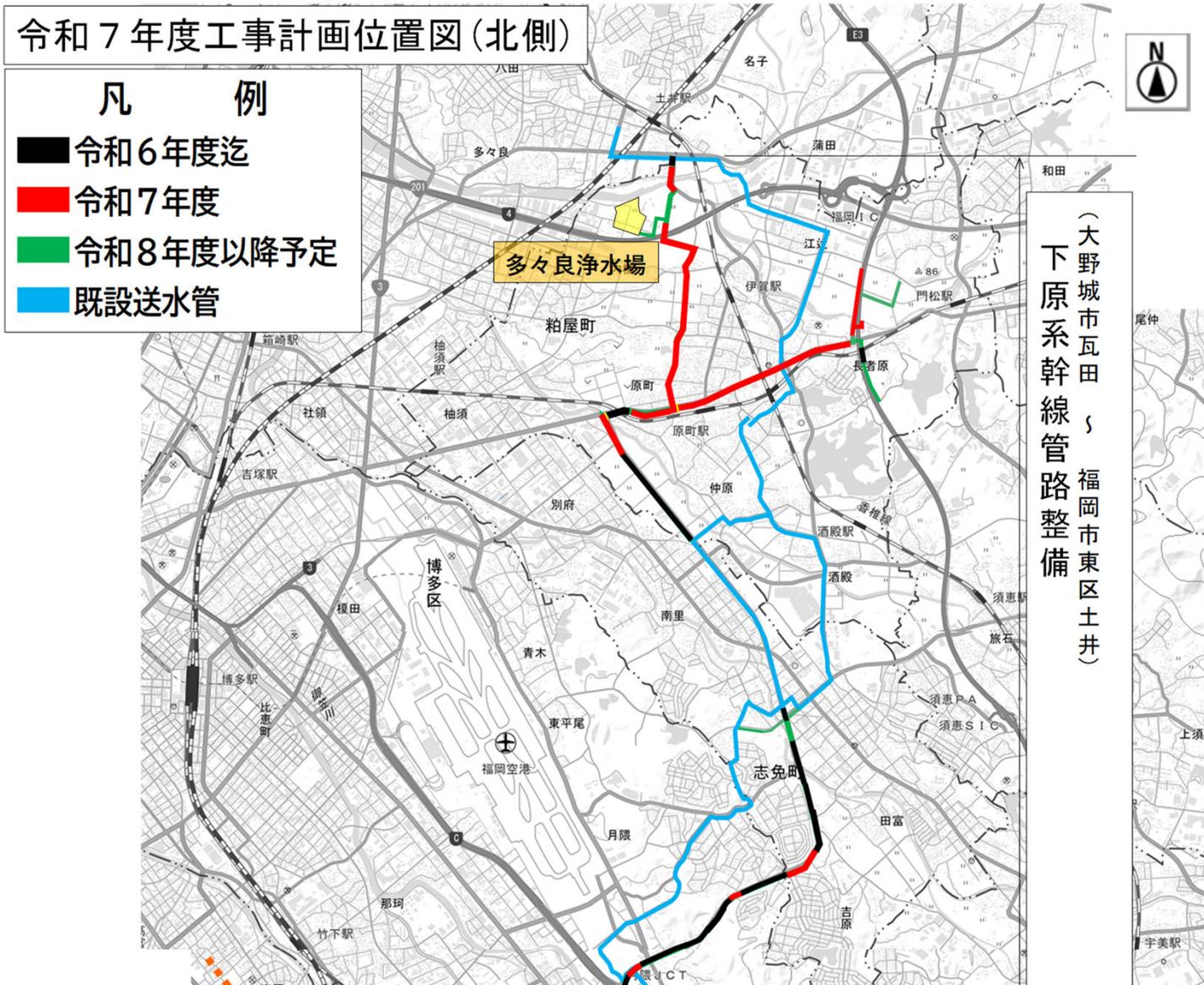
⇒ 23.8km R7年度末時点 73.9%

(単位：百万円)

令和7年度	令和6年度	増減
4,848	3,731	1,117

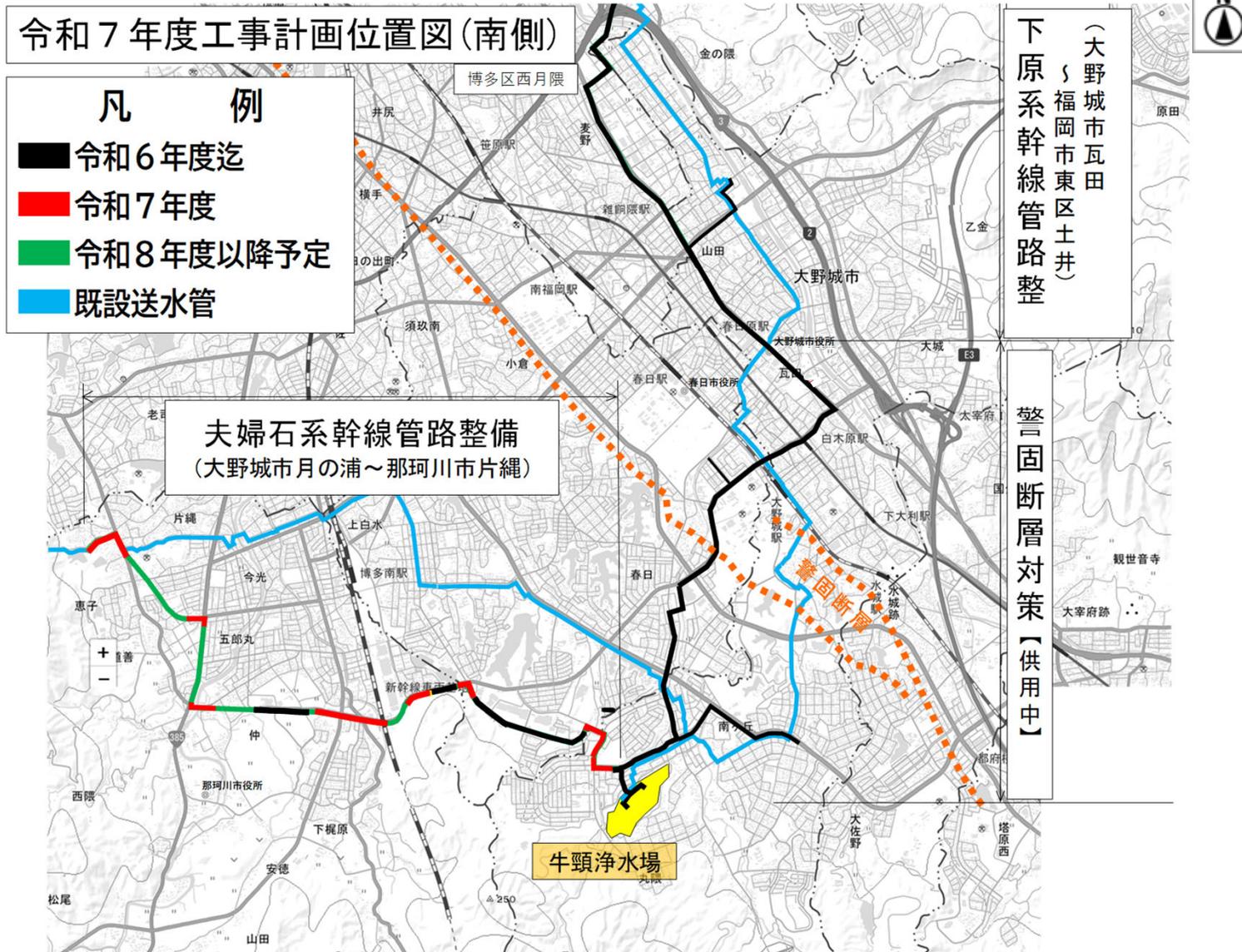
## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ④ 管路の耐震化



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ④ 管路の耐震化



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑤ 福岡導水施設地震対策

福岡導水施設の耐震性を確保するために、  
(独)水資源機構が実施し、その事業費を負担

#### 【令和7年度の取組】

(単位：百万円)

2号トンネル併設水路工事

思案橋水管橋併設水路工事 等

令和7年度	令和6年度	増減
1,427	1,919	△ 492

#### 【参考】総事業費及び事業工期の変更案

社会情勢の変化（物価上昇や工事費積算基準改定等）や  
現場条件の変化（トンネル工事における想定より硬い岩の確認等）等によるもの

	現行	変更後
総事業費	約290億円	約520億円
事業工期	15年 (H30~R14年度)	18年 (H30~R17年度)

➡ 変更案確定後の令和8年2月議会で報告予定

### ⑥ 地球温暖化対策の推進

「地球温暖化対策実行計画」（令和5年12月策定）に基づき、  
温室効果ガスの排出量を削減

#### 【新規】

- ア 浸透圧発電の稼働
- イ 太陽光発電の導入
- ウ ディマンド・リスパンスの導入
- エ 再生可能エネルギー由来電力等の導入

#### 【継続】

- オ 照明設備のLED化（H25～R12）
- カ 省エネ機器の導入  
海水淡水化施設動力回収装置等（～R12）

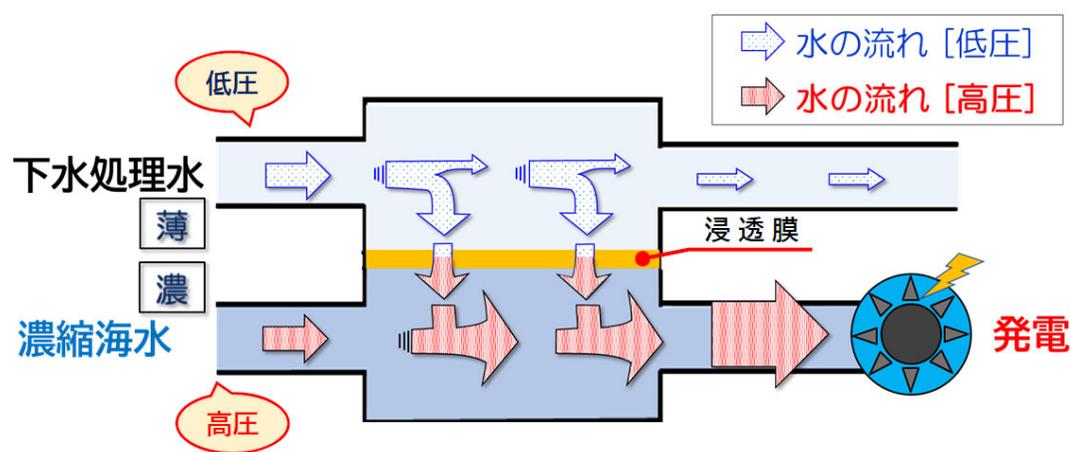
## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑥ 地球温暖化対策の推進

#### 【新規】

#### ア 浸透圧発電の稼働（海水淡水化センター）（R7予算 - 千円）

R7 発電開始 発電量に応じて動力費を削減



浸透圧発電 原理図



建設状況（令和7年1月）

海水淡水化センターから排出される濃縮海水を有効活用

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

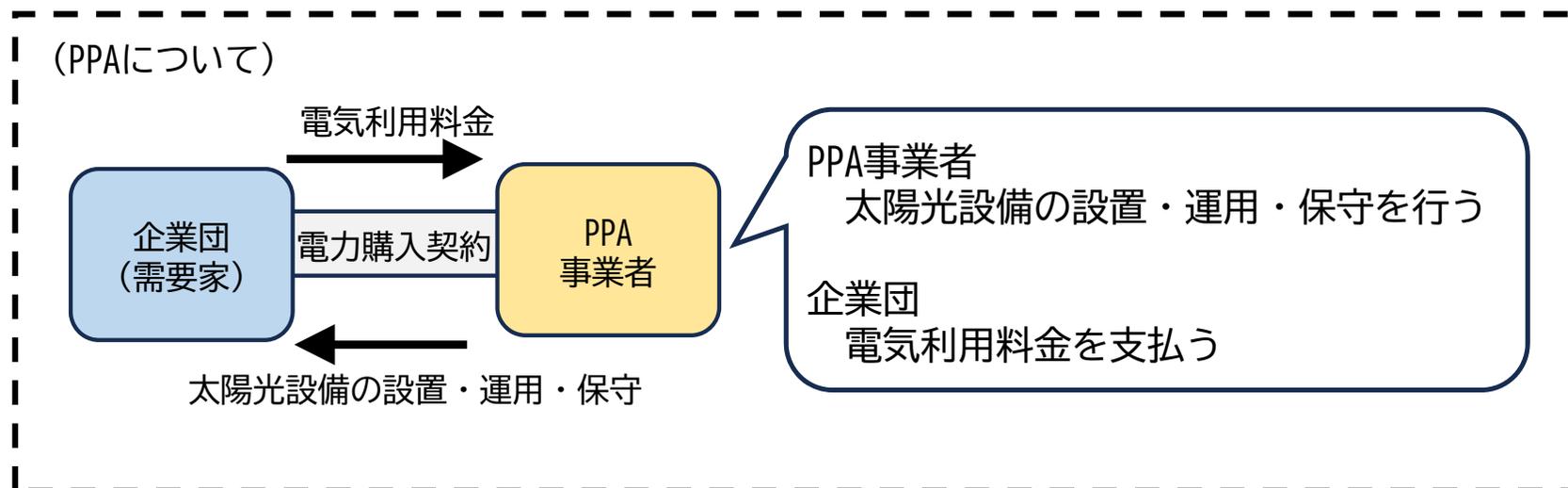
### ⑥ 地球温暖化対策の推進

#### 【新規】

#### イ 太陽光発電の導入(R7予算 - 千円)

R7 PPA方式による設備導入の業者選定、場所の決定、設置工事

R8 発電開始 発電した電気を企業団が購入



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

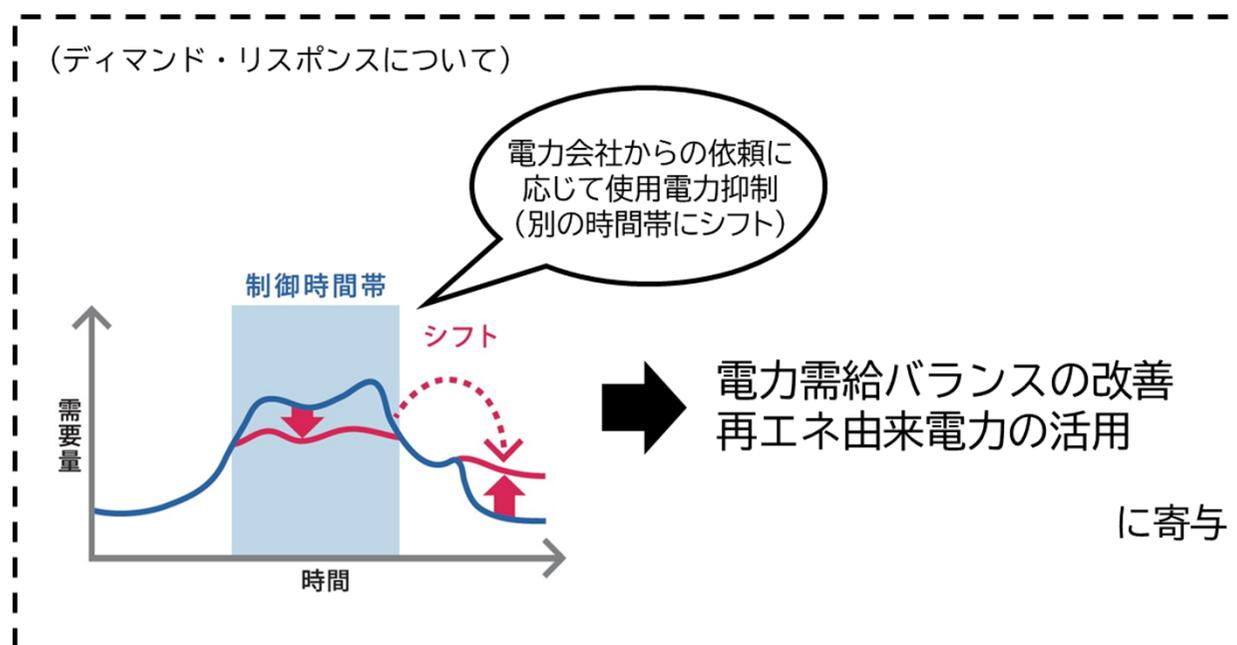
### ⑥ 地球温暖化対策の推進

#### 【新規】

ウ ディマンド・レスポンスの導入（海水淡水化センター）  
(R7予算 - 千円)

R7～R8 実効性テスト

R9 実施



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

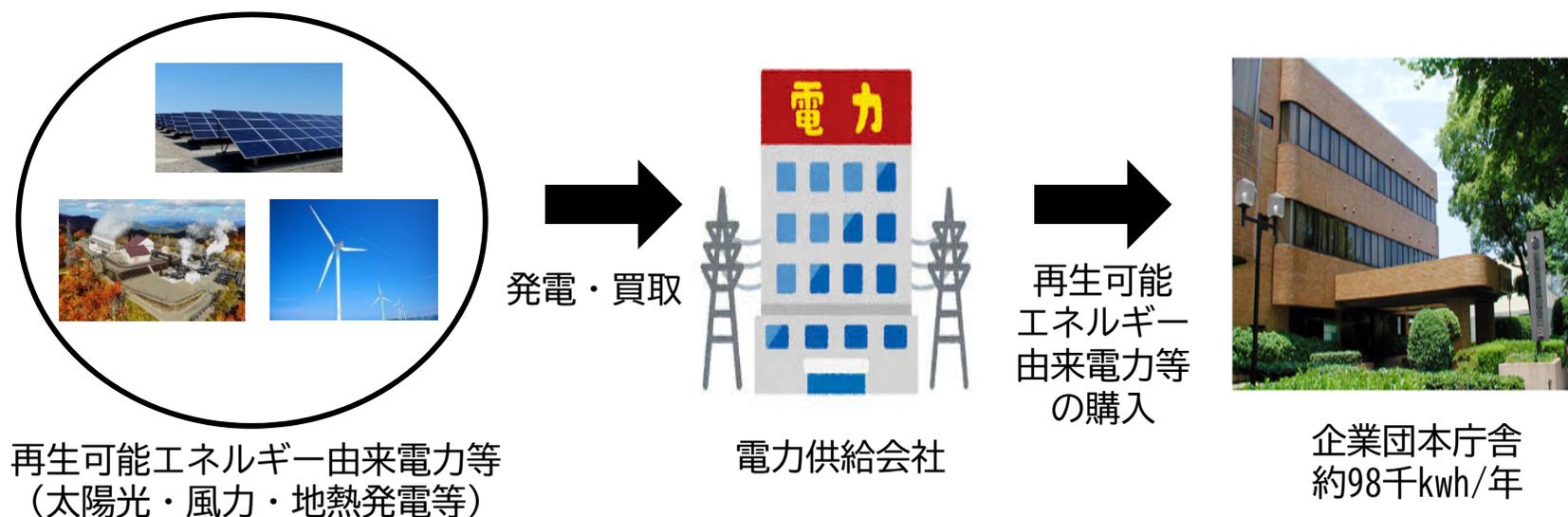
### ⑥ 地球温暖化対策の推進

【新規】

工 再生可能エネルギー由来電力等の導入(R7予算 104千円)

R7～ 本庁舎の全電力を

再生可能エネルギー由来電力等に切替



※その他の施設等は、節電による電力料金削減分の一部を再生可能エネルギー由来電力等に振り替えることを検討

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑦ DXの導入・活用

業務効率化による人的資源の有効活用を図るため、  
業務改善の一環として導入・活用

#### 【新規】

- ア AIを活用した管路劣化予測
- イ 地下埋設物調査受付のWEB化
- ウ 「水質情報共有システム」の構築
- エ ドローンを使用した水道施設の点検
- オ 「庶務管理システム」の導入

#### 【継続】

- カ 「管路管理クラウドシステム」による現場調査(R6開始)

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑦ DXの導入・活用

#### 【新規】

#### ア AIを活用した管路劣化予測(R7予算 3,109千円)



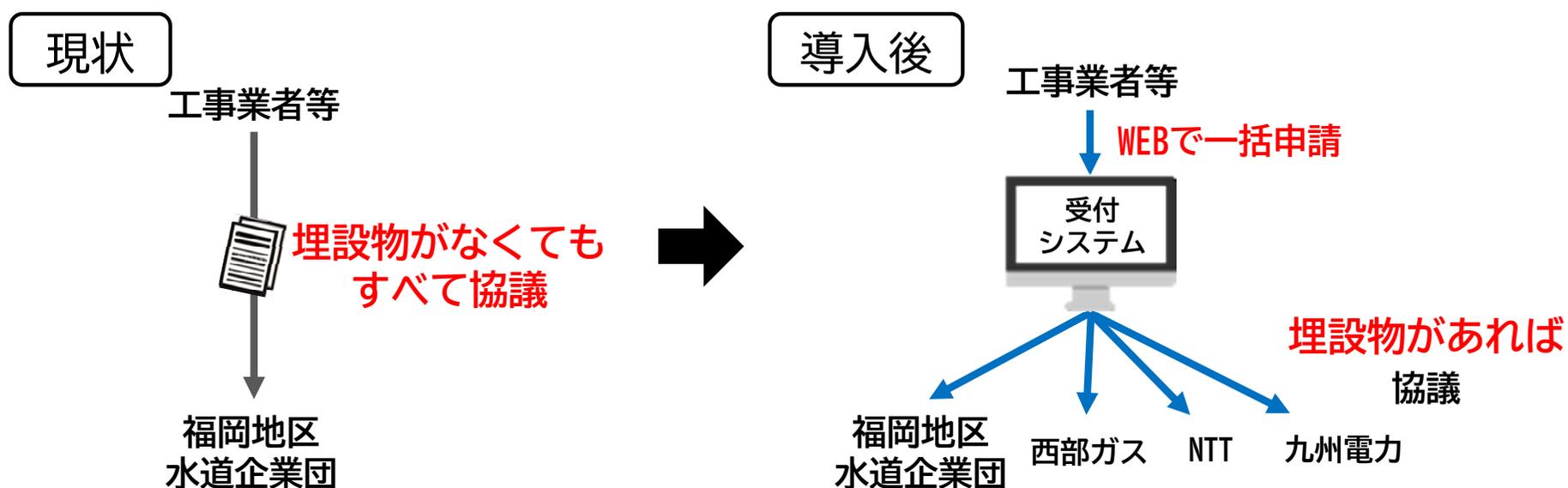
道路の掘削を伴う土壌や管体の調査をせずに、  
管路データのみで管路の劣化を予測

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑦ DXの導入・活用

#### 【新規】

#### イ 地下埋設物調査受付のWEB化(R7予算 555千円)



業務の効率化や工事業者等の負担軽減

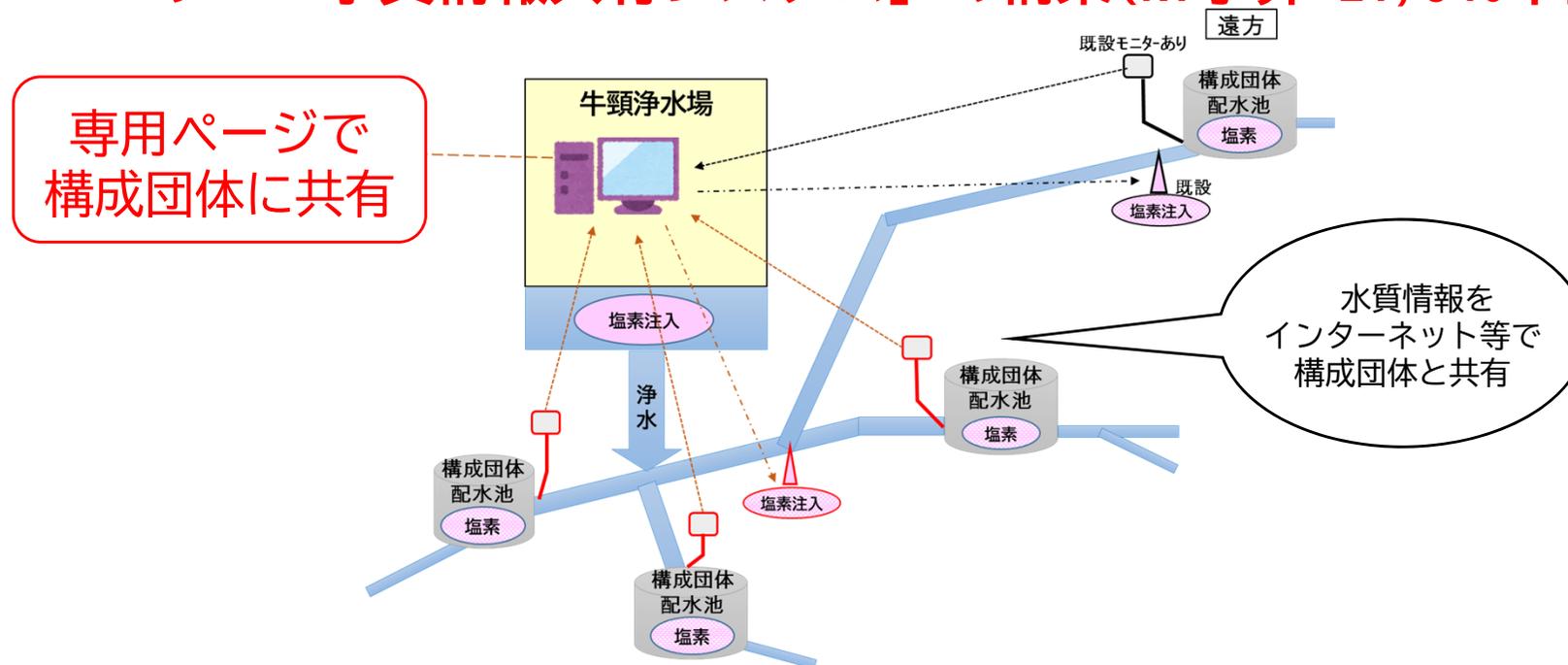
他の埋設物管理者との一括受付により、協議もれによる破損事故を防止

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑦ DXの導入・活用

【新規】

#### ウ 「水質情報共有システム」の構築(R7予算 21,846千円)



- ・ 現在、電話等により確認を行っている各配水池の水質をリアルタイムに確認できるようになることで、**非常時対応を迅速化**
- ・ 水質情報の**透明性を確保**

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

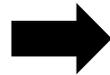
### ⑦ DXの導入・活用

【新規】

エ ドローンを使用した水道施設の点検(R7予算 - 千円)



従来の点検  
(足場の設置が必要)



ドローンでの点検



- ・ 足場等が不要、点検の迅速化
- ・ 高画質カメラにより、細部まで確認・記録が可能

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

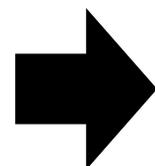
### ⑦ DXの導入・活用

【新規】

オ 「庶務管理システム」の導入(R7予算 9,350千円)



これまでの紙前提の事務



事務処理のデジタル化

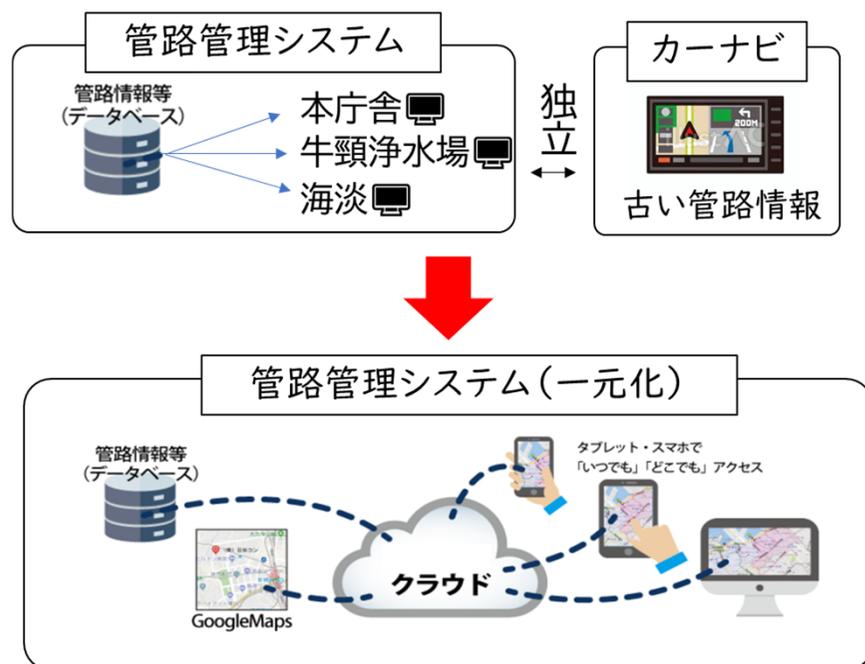
- ・ 手書き申請による **ミスの削減とチェック機能の強化**
- ・ 書類作成、集計作業の **大幅な時間短縮**

## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ⑦ DXの導入・活用

【継続】

カ 「管路管理クラウドシステム」による現場調査(R6開始)  
(R7予算4,861千円)



- ・ モバイル端末で利用可能、**対応の迅速化**
- ・ 最新の地図データが利用可能、**現場と管路位置情報の不一致を解消**

### 3 令和7年度予算（案）の概要

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

## (1) 収益的収支 (事業運営に関する収益と費用)

(単位：百万円)

款・項	令和7年度予算 ①	令和6年度予算 ②	前年度比較 ③=①-②
1.水道用水供給事業収益(A)	13,059	12,735	324
1.営業収益	11,698	11,518	180
2.営業外収益	1,361	1,211	150
3.特別利益	0	6	△ 6
1.水道用水供給事業費用(B)	12,583	12,058	525
1.営業費用	12,460	11,954	506
2.営業外費用	118	99	19
3.特別損失	0	0	0
4.予備費	5	5	0
単年度収支差(A) - (B)	476	677	△ 201

- Ⓐ 営業収益の増
- Ⓑ 営業外収益の増
- Ⓒ 営業費用の増

(参考)

水道用水供給事業収益(税抜)	11,716	11,517	199
水道用水供給事業費用(税抜)	12,002	11,499	503
単年度収支差(税抜)	△ 286	18	△ 304

・令和7年度の損失は

繰越利益剰余金で補てん

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

#### 【収益的収支の主な増減】

- ① 営業収益 1億8,000万円の増  
五ヶ山ダム供用開始に伴う減免終了による  
給水収益の増など
  
- ② 営業外収益 1億5,000万円の増  
仮払消費税の増による消費税還付金の増 など

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

◎ 営業費用 5億600万円の増

ア) 負担金 2億3,600万円の増

福岡導水施設の動力費単価上昇による増等

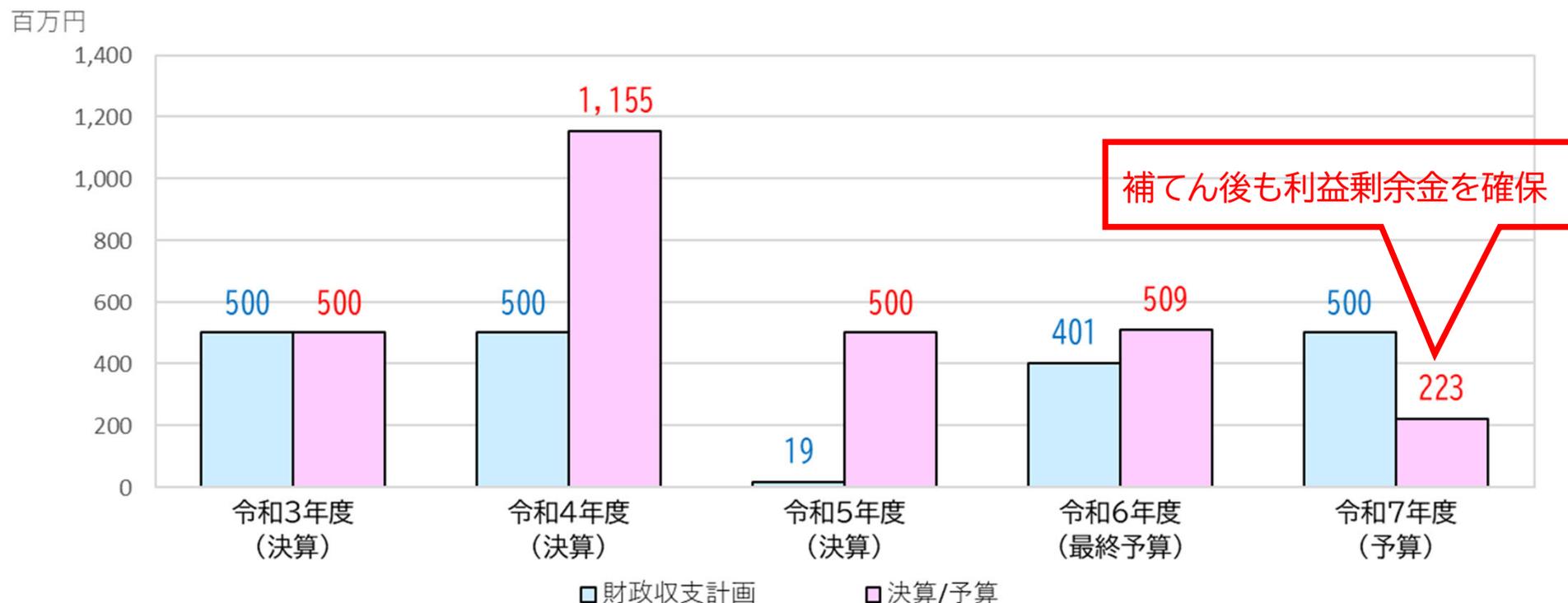
イ) 修繕費 1億1,500万円の増

年次計画に基づく増

など

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

#### 【各年度末における繰越利益剰余金の推移】



令和7年度は単年度赤字2億8,600万円となるが、  
⇒繰越利益剰余金で補てんし、なお利益剰余金2億2,300万円を確保

### 3 予算(案)の概要 (2) 資本的収支

## (2) 資本的収支(施設整備等に関する収入と支出)

(単位：百万円)

款・項	令和7年度予算 ①	令和6年度予算 ②	前年度比較 ③=①-②
1. 資本的収入(A)	5,211	4,391	820
1. 企業債	3,315	2,552	Ⓐ 763
2. 国庫補助金	999	711	Ⓐ 288
3. 出資金	883	1,128	△ 245 Ⓑ
4. その他の資本的収入	14	0	14
1. 資本的支出(B)	10,503	9,463	1,040
1. 設備費	7,959	6,071	Ⓐ 1,888
2. 国営事業等負担金	1,455	1,919	△ 464 Ⓑ
3. 償還金	1,044	1,468	△ 424
4. 国庫補助金返還金	40	0	40
5. 予備費	5	5	0
資本的収支不足額(B)-(A)	5,292	5,072	220

Ⓐ 管路整備事業  
(増額)

Ⓑ 福岡導水地震対策事業  
(減額)

※資本的収支不足額は損益勘定留保資金等で補てん

### 3 予算(案)の概要 (2) 資本的収支

## 【資本的支出の主な増減】

### ㊦ 管路整備事業費の増

管路整備事業の加速化等による設備費の増 (18億8,800万円の増)

### ㊧ 福岡導水地震対策事業費の減

事業費減による負担金の減 (4億6,500万円の減)

## 4 債務負担行為

## 4 債務負担行為 (1) 収益的支出

### (1) 収益的支出

事項	期間	限度額	変更内容		増減
			変更前	変更後	
寺内ダムの管理に係る負担金	令和8年度から水利使用期間	寺内ダム施設の管理費に1,000分の154.7を乗じた額のうち1,000分の908.1相当額	$\frac{209}{1000}$ のうち $\frac{682.3}{1000}$	$\frac{154.7}{1000}$ のうち $\frac{908.1}{1000}$	減少
筑後大堰の管理に係る負担金	令和8年度から水利使用期間	筑後大堰施設の管理費に1,000分の114を乗じた額相当額	$\frac{110}{1000}$	$\frac{114}{1000}$	増加
海水淡水化施設維持管理業務委託	令和8年度から令和11年度まで	千円 3,687,000			
海水淡水化施設修繕工事(令和7年度分)	令和8年度	381,000			
送水施設修繕工事(令和7年度分)	令和8年度	62,000			

相対的な

寺内ダム再生事業に伴い、企業団取水量の割合等が変更



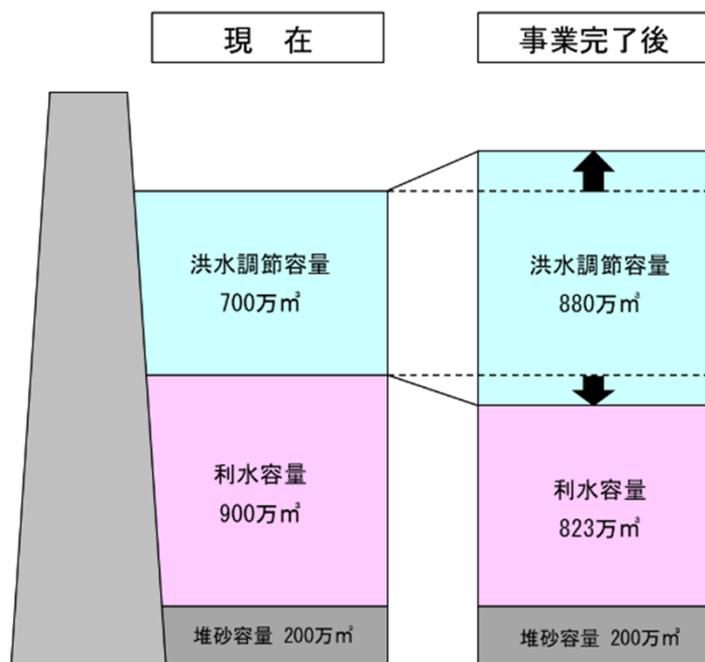
**管理費の負担割合も変更**

## 4 債務負担行為 (1) 収益的支出

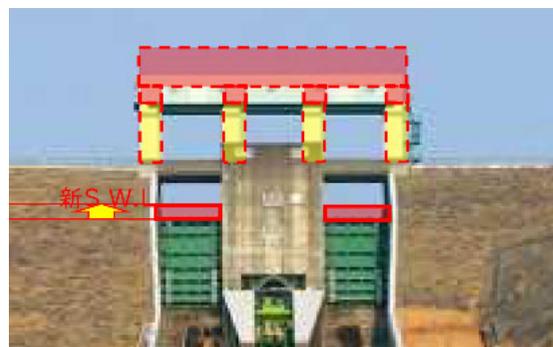
### ① 寺内ダム再生事業の概要

(独) 水資源機構が  
実施

## 寺内ダムの治水機能を向上させるもの



①洪水放流設備の改築(103万 $\text{m}^3$ )



R11完成予定

今回

②利水容量の振替(77万 $\text{m}^3$ )

福岡県南広域水道企業団配分の一部

## 4 債務負担行為 (2) 資本的支出

### (2) 資本的支出

事 項	期 間	限 度 額
海水淡水化施設設備更新工事 (令和7年度分)	令和8年度から 令和12年度まで	千円 令和8年度以降 13,871,000
牛頸浄水場等設備更新工事 (令和7年度分)	令和8年度から 令和9年度まで	令和8年度以降 1,321,000
管路整備工事 (令和7年度分)	令和8年度から 令和9年度まで	令和8年度以降 3,649,000

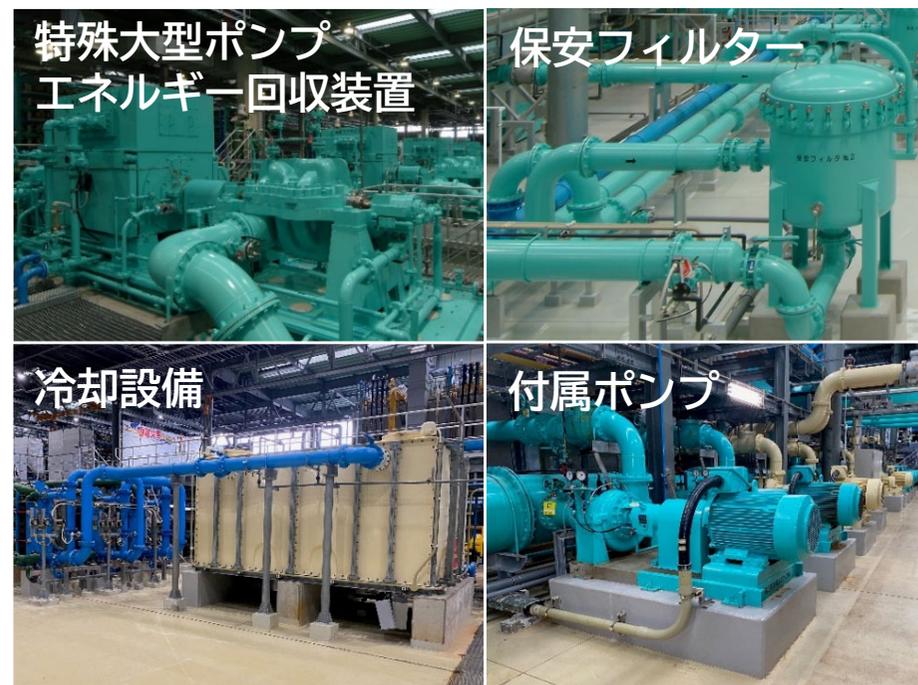
## 4 債務負担行為 (2) 資本的支出

### 海水淡水化施設設備更新工事

#### ① 高圧ROポンプ設備外更新工事 (R7~12)

(高圧ROポンプ、動力回収装置等の更新)

- ・ <sup>メガパスカル</sup> 8MPaを超える高圧力の  
特殊大型ポンプ
- ・ 新技術 (圧力交換方式) の  
エネルギー回収装置
- ・ ポンプ運転用の  
冷却設備や保安フィルター
- ・ その他付属するポンプや  
高圧配管、弁類



5 系統実施

## 4 債務負担行為 (2) 資本的支出

### 海水淡水化施設設備更新工事

#### ② 監視制御設備更新工事 (R 7~9)

(海水淡水化センター監視制御設備の更新)

- 中央監視装置



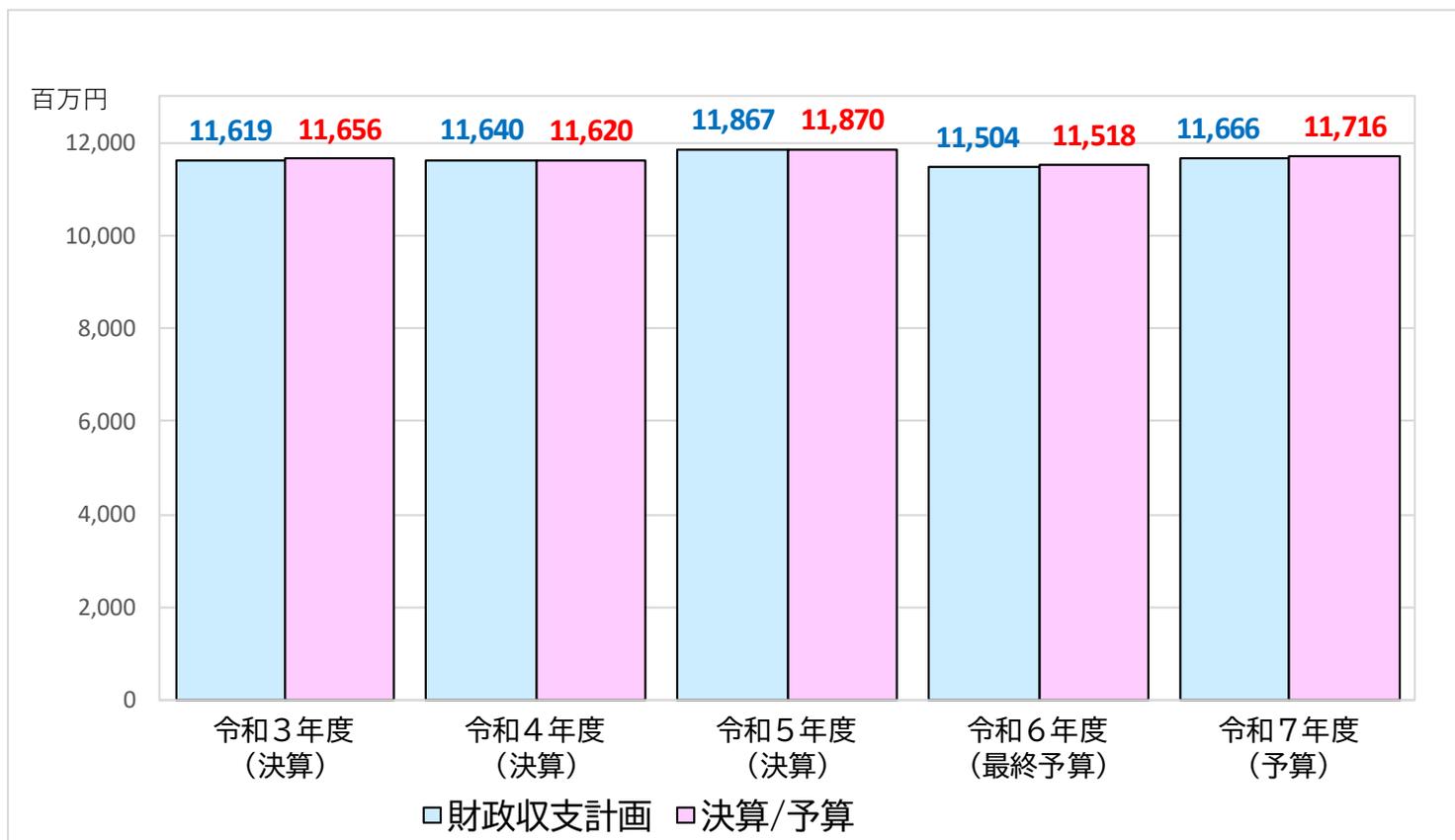
- 制御装置



## 5 財政状況

## 5 財政状況 (1) 収益的収支 収益

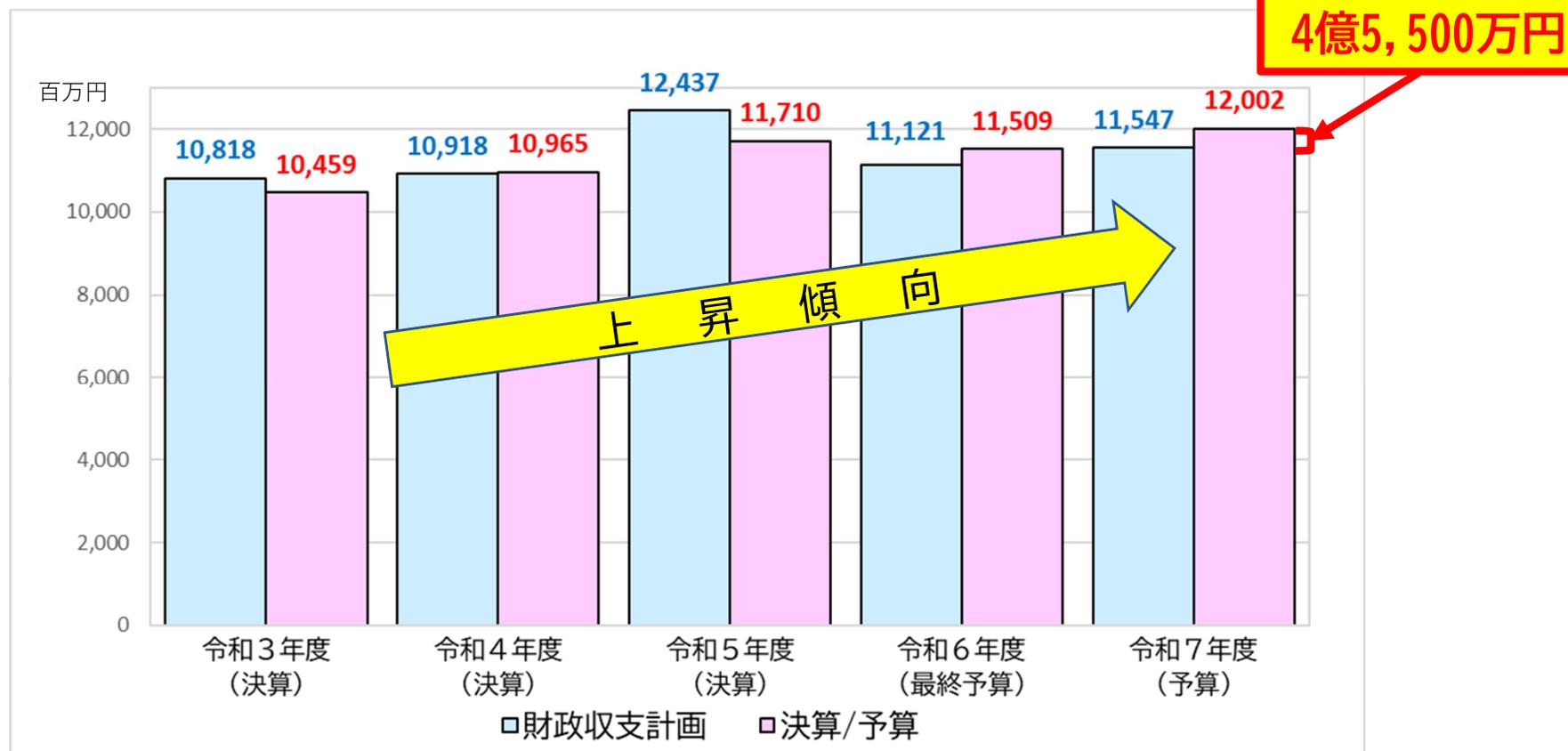
### (1) 収益的収支の収益(税抜)の推移



収益は「財政収支計画」とおり**一定水準を維持**

## 5 財政状況 (2) 収益的収支 費用

### (2) 収益的収支の費用(税抜)の推移



費用は物価上昇に伴い上昇傾向

## 5 財政状況 (2) 収益的収支 費用

※令和7年度における財政収支計画からの主な費用増減

(4億5,500万円：税抜)

① 労務単価等の物価上昇による増

ア 委託料 1億8,600万円

イ 修繕費 8,200万円

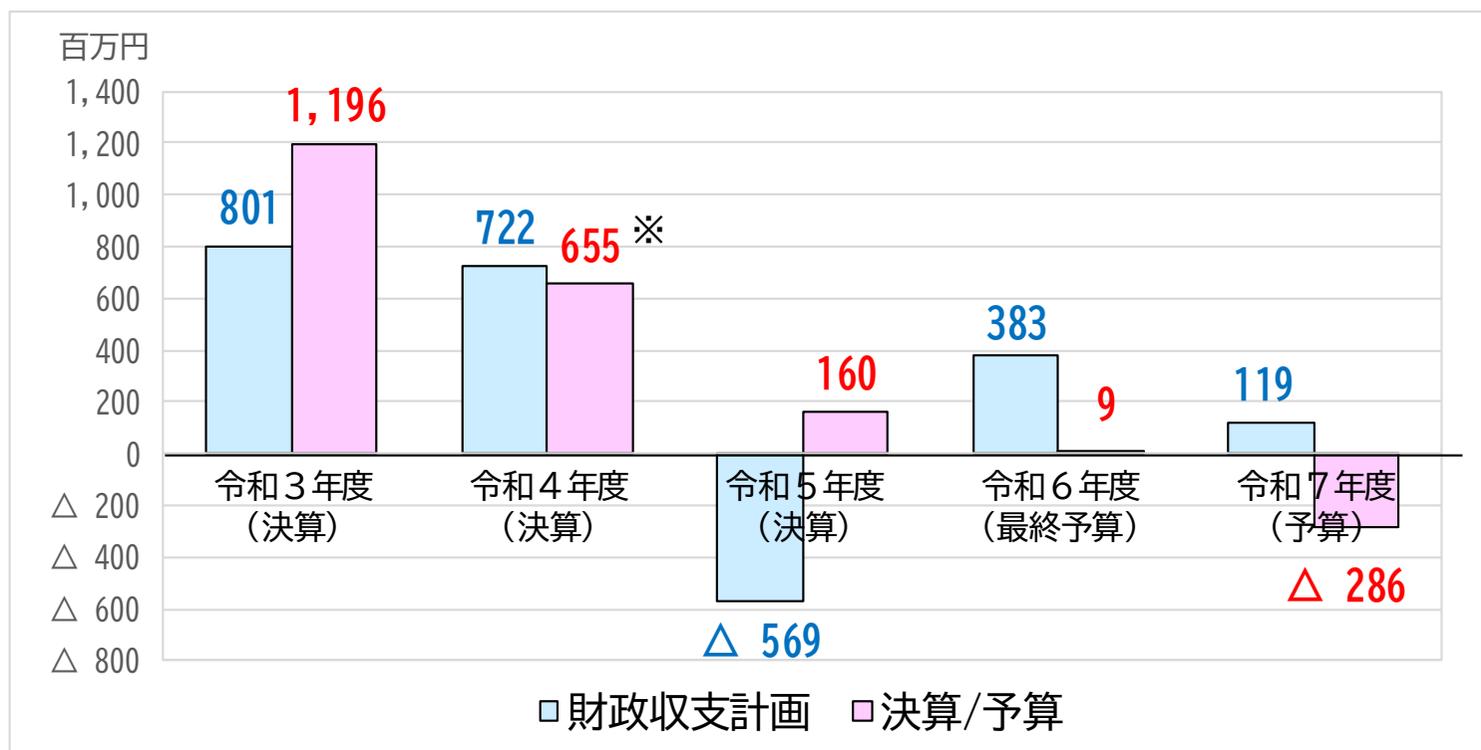
② 電気料金や薬品単価の上昇による増

ア 負担金 1億4,000万円

イ 薬品費 6,300万円

## 5 財政状況 (3) 収益的収支 単年度純損益

### (3) 収益的収支の単年度純損益(税抜)の推移



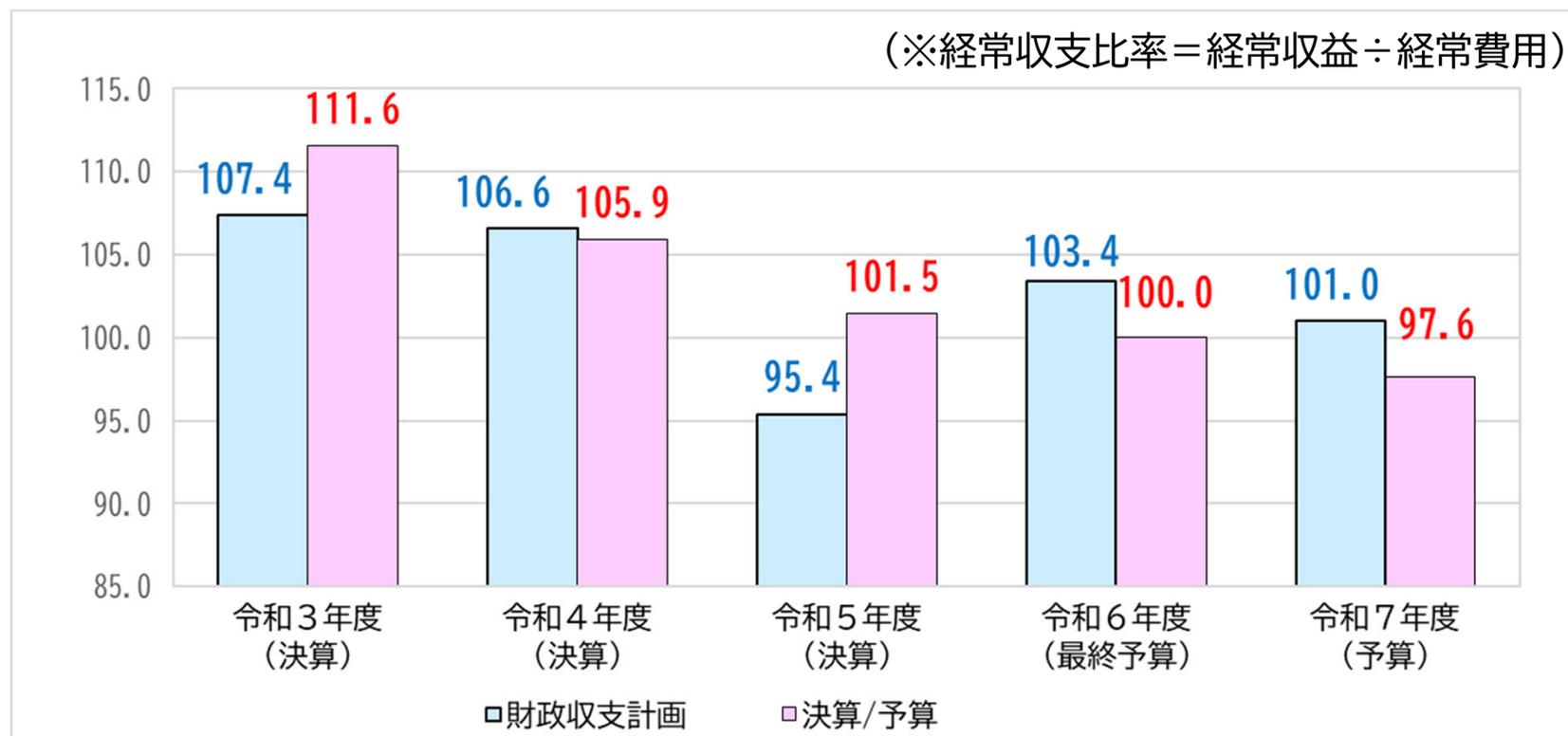
※1 令和4年度の利益は、過年度損益修正益分の利益（非現金）902百万円を含まない。

※2 令和6年度最終予算には、令和5年度からの繰り越しを含む。

令和4年度以降**減少傾向**

## 5 財政状況 (4) 経常収支比率 推移

### (4) 経常収支比率の推移

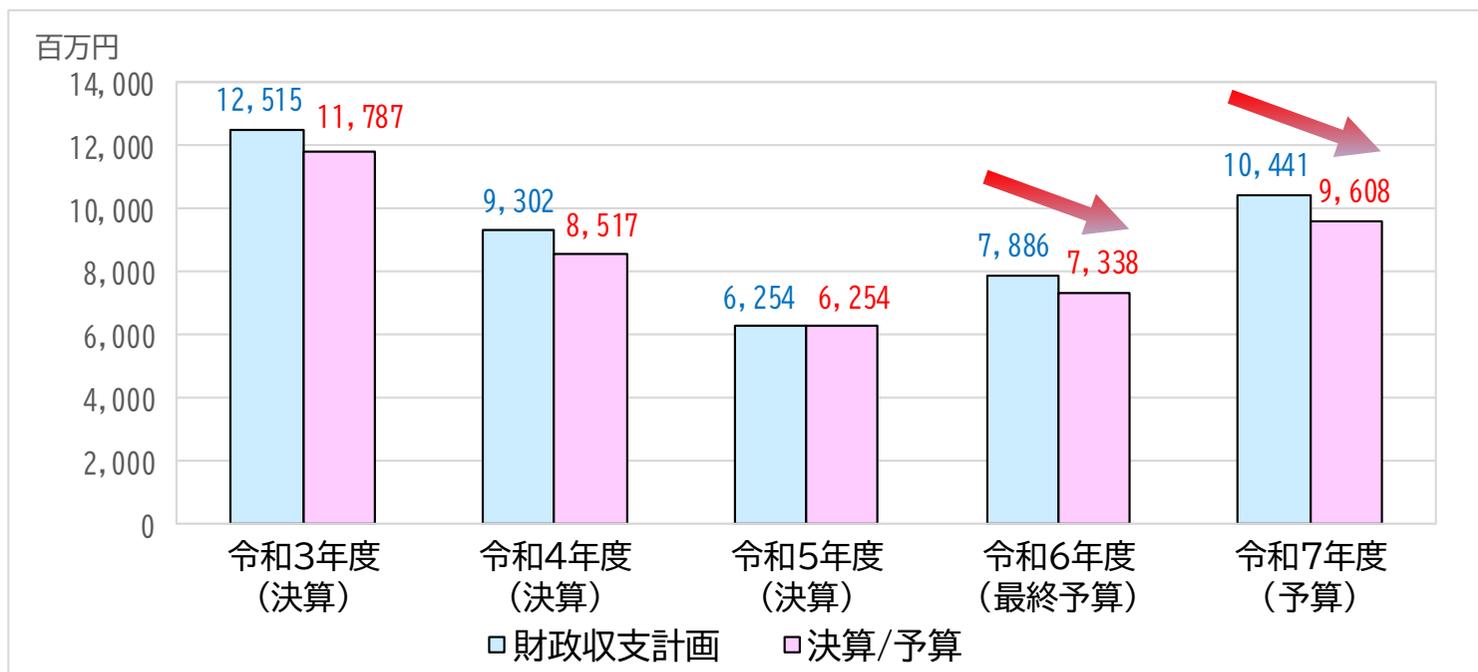


※経常収支比率は経常費用が経常収益によりどの程度賄われているかを示す指標であり、100%未満では単年度赤字が生じていることを意味する。

物価上昇に伴う費用の増加により減少傾向  
⇒**経営改善が必要**

## 5 財政状況 (5) 企業債等残高 推移

### (5) 企業債等残高(税抜)の推移



※企業債等残高のピークは平成12年度 856億87百万円

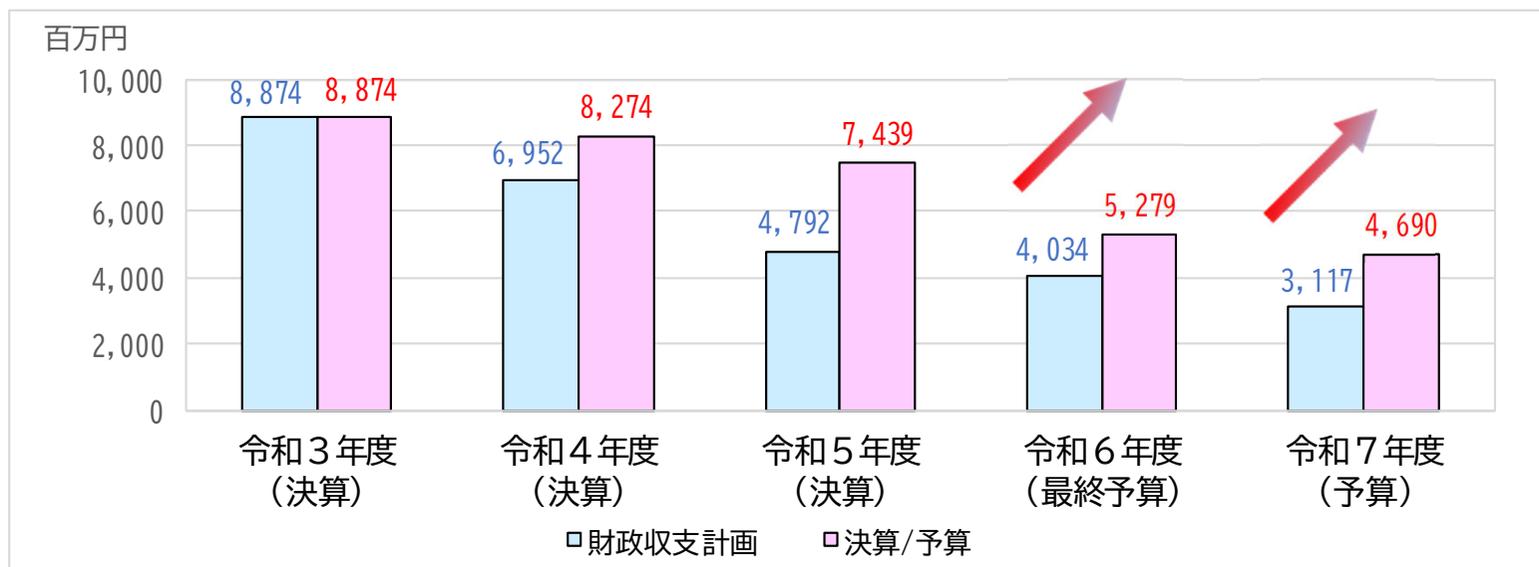
H30～R5 企業債の借入を停止

令和6年度から企業債の借入を再開

⇒ 企業債残高のピーク時(H12)に比べ約1/8  
「財政收支計画」よりも発行を抑制

## 5 財政状況 (6) 年度末資金残高 推移

### (6) 年度末資金残高の推移

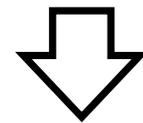


※ 年度末資金残高のピークは、令和2年度 92億4,400万円

⇒ 予算より決算が好転したことにより、  
「財政収支計画」を上回る資金残高を確保

## (7) 財政状況の総括

- 企業債等により主要事業等の推進に必要な**資金を確保**できているものの
- 収益は横ばいながら費用は物価上昇に伴い上昇傾向にあり**損益及び経常収支比率は減少傾向**にある



**中・長期的な経営について検討**

## 5 財政状況

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	(2033)	(2034)	(2035)	(2036)	(2037)
水道ビジョン2018 (H31~R19)																		
				長期財政収支見通し2023 (R5~R19)														
第13次財政収支計画 (R元~R4)				※現行 第14次財政収支計画 (R5~R8)				※次期 第15次財政収支計画 (R9~R12)										

⇒ 第15次「財政収支計画」(R9~R12)の策定及び  
「長期財政収支見通し2023」(R5~R19)の  
見直しに向けて、R7年度から着手

## 6 令和7年度機構整備及び 職員配置計画

## 6 令和7年度機構整備及び職員配置計画

- 総務部・施設部の再編
  - ・ 経営強化のため、施設部計画調整課を総務部に移管

\_\_\_\_\_ : 変更

現 行 (令和6年度)	整備案 (令和7年度)
<p>総務部 (13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 総務課 (5)</li> <li>— 総務係 (3)</li> <li>— 企画広報係 (1)</li> <li>— 財務課 (7)</li> </ul>	<p>総務部 (19)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 総務課 (5)</li> <li>— 企画調整課 (6)</li> <li>— 財務課 (7)</li> <li>— 総務係 (3)</li> <li>— 交流広報係 (1)</li> <li>— 主査 (法制等)</li> <li>— 企画係 (2)</li> <li>— 調整係 (3)</li> </ul> <p style="color: red; text-align: right;">施設部から移管</p>

## 6 令和7年度機構整備及び職員配置計画

### ○ 海水淡水化センターの体制強化

- ・ 海水淡水化センターの設備更新本格化に係る体制強化

\_\_\_\_\_ : 変更

現 行 (令和6年度)	整備案 (令和7年度)
<p>施設部 (55) <span style="color: red;">総務部へ移管</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 計画調整課 (6)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 計画調整係 (2)</li> <li>— 計画調整係 (2)</li> <li>— 主査 (浸透圧発電等) (1)</li> </ul> </li> <li>— 施設課 (9)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 施設係 (6)</li> <li>— 主査 (維持管理等) (2)</li> </ul> </li> <li>— 牛頸浄水場 (17)</li> <li>— 水質センター (12)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 第1係 (6)</li> <li>— 第2係 (5)</li> </ul> </li> <li>— 海水淡水化センター (10)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 運転管理係 (5)</li> <li>— 設備更新係 (3)</li> <li>— 主査 (水質管理) (1)</li> </ul> </li> </ul>	<p>施設部 (49)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 施設課 (9)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 施設整備係 (6)</li> <li>— 維持管理係 (2)</li> </ul> </li> <li>— 牛頸浄水場 (17)</li> <li>— 水質センター (11)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 第1係 (5)</li> <li>— 第2係 (5) <span style="color: red;">体制強化</span></li> </ul> </li> <li>— 海水淡水化センター (11)               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 運転管理係 (5)</li> <li>— 機械更新係 (2)</li> <li>— 電気更新係 (2)</li> <li>— 主査 (水質管理) (1)</li> </ul> </li> </ul>

## 令和7年第1回議会 説明資料（その2）（案）

### 【議案第3号】

福岡地区水道企業団布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案

### 【議案第4号】

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案

# 福岡地区水道企業団布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案【議案第3号】

## 1 条例改正の理由

水道法施行令等の一部改正に伴い、**布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の変更等**の所要の規定の整備を行う必要があるもの。

## 2 改正の内容

布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件について、現行では水道に関する実務経験のみを対象としているところ、資格要件に**下水道等**（工業用水道、下水道、道路又は河川）**に関する実務経験を含める**等の改正並びに学歴及び学科要件における「**土木工学科（土木科）**」以外の**課程の追加**等の改正を行うもの。

## 3 施行期日

令和7年4月1日

# 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案 【議案第4号】

## 1 条例改正の理由

刑法等の一部を改正する法律の施行により、懲役及び禁錮刑が新たな自由刑（拘禁刑）として単一化されたことに伴い、関係条例の規定の整備を行うもの。

## 2 改正の内容

福岡地区水道企業団議会の個人情報保護に関する条例、福岡地区水道企業団企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び福岡地区水道企業団企業長等退職手当支給条例中、「懲役」又は「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

## 3 施行期日

令和7年6月1日